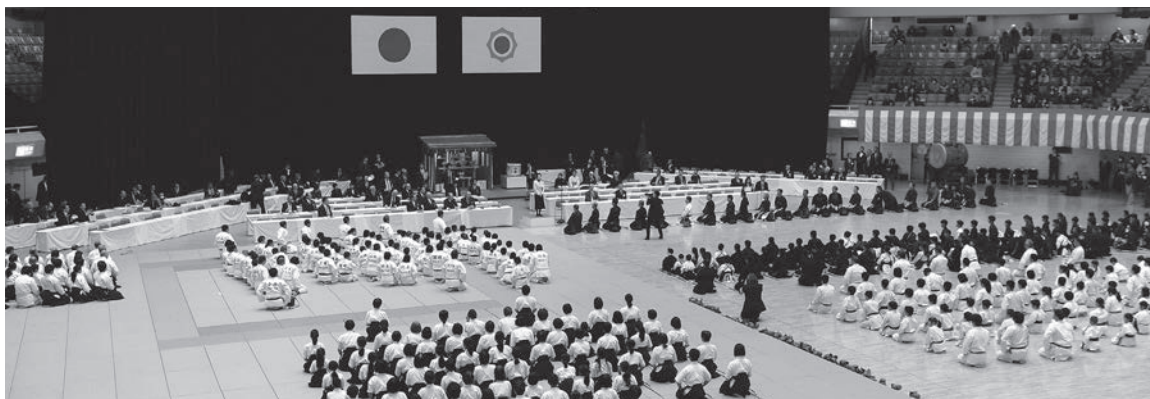


BUDŌ

NEWS

今月のニュース

平成 31 年 鏡開き式・武道始め



平成31年鏡開き式・武道始め

一年の精進を誓い、武道の隆盛を願う



白井日出男大將軍による鏡開き

平成31年鏡開き式・武道始め（主催Ⅱ日本武道館）が、成人の日の1月14日に日本武道館で武道関係者、各国の公大使、武道修行者など約1900名が参集し、盛大に開催された。

武道功労表彰式に続き、武者装束を身に纏った戦国武者による鑑着初め・鏡開き式、現代9武道の模範演武、武道稽古会が行われ、武道修行者が1年の精進を誓い、益々の武道の隆盛を願った。

昭和40年より始まった日本武道館の鏡開き式は今回で53回目を数えた。昭和、平成と行われてきた鏡開き式だが、来年は東京オリンピックに向けた日本武道館の増改修工事のため、中止となる。改修前、そして平成最後となった日本武道館鏡開き式は一つの節目を迎えた。



晴やかな青空が広がった



三藤芳生
日本武道館常任理事・事務局長



永岡桂子文部科学副大臣



高村正彦日本武道館会長



開会式

正午より、三藤芳生日本武道館常任理事・事務局長の開会宣言により平成31年鏡開き式・武道始めは開始された。

国歌斉唱に続いて、主催者として

高村正彦日本武道館会長が、

「現代武道9種目はそれぞれ違った技の体系を持っています。しかし、それぞれの武道は、それぞれの技を修練していく中で、心と身体を鍛えて、人間が進むべき道を求めます。いずれも求める先は同じであります。そして、この武道を日本人なら誰でも触れたことがあるようにしよう」と、平成24年には中学校体育授業において武道の必修化が実現されました。限られた中でもできるだけ、それぞれの武道の真髄に触れてもらいたいと思います。そのためには全国の武道家の皆様の協力が必要です。また、来年は東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。柔道に続いて空手道も正式種目となりました。日本武道館としてはこの東京オリンピック・パラリンピックに全面的に協力してまいります。その他の種目についても全世界に発信することができるようになっていく

と考えております。武道関係者の皆様の益々のご活躍を心からお祈りします」と挨拶を述べた。

続いて来賓を代表して永岡桂子文部科学副大臣が、

「武道は礼に始まり礼に終わると言われているように礼節を重じ、自らを律し、相手を尊重する態度を養うことができる世界に誇るべき我が国の伝統文化であります。平成24年度から中学校の保健体育で武道が必修化され、平成29年3月に改正された新学習指導要領では、グローバル化する社会の中で我が国の伝統文化の理解を深める観点から、多様な武道に取り組みやすくなる一層の改善を図りました。子供たちが武道の素晴らしさを一層味わうことができる授業づくりが行われるよう、ご協力をお願いいたします。また、いよいよ来年開催される東京オリンピック・パラリンピック競技大会では柔道と空手道が日本武道館で実施されます。我が国発祥の伝統と魅力を世界に発信し、武道がさらに発展する転機となるよう、皆様のご支援のほどよろしくお願いいたします」と祝辞を述べた。



【武道功労者】

- ▽柔道 中村良三（茨城）
- ▽剣道 佐藤成明（茨城）
- ▽弓道 岡崎廣志（山形）
- ▽相撲 中山国久（東京）
- ▽空手道 並木知徳（東京）
- ▽合気道 和田昭（愛知）
- ▽少林拳法 藤本義政（兵庫）
- ▽なぎなた 中村ゆり子（福岡）
- ▽銃剣道 野稲正（千葉）
- ▽日本武道館 太田昭宏（東京）

【武道優良団体】

- ▽柔道 愛知真和学園大成中学校女子柔道部
- ▽剣道 一般財団法人全日本剣道場連盟
- ▽弓道 名古屋弓道協会
- ▽相撲 慶應義塾大学相撲部
- ▽空手道 浪速学院浪速高等学校空手道部
- ▽合気道 大阪府合気道連盟
- ▽少林拳法 群馬県少林寺拳法連盟
- ▽なぎなた 福井県なぎなた連盟
- ▽銃剣道 旭川実業高等学校銃剣道部

※武道功労者による寄稿文は11～31頁に、武道優良団体の紹介は160～161頁に掲載されています。

日本武道協議会による武道功労表彰式では、功労者10名、優良団体9団体に、高村正彦日本武道協議会会長より表彰状、功労者には功労章が授与された。本年も功労者は、日本武道館1階北口ロビーに名前がプレートとして掲げられ、その功績が顕彰された。



鑑着始め・鏡開き式では臼井日出男日本武道館理事長が大将軍を務め、副將軍を林典夫合気会常務理事と加藤征男日本甲冑武具研究保存会理事が務めた。合計61名が武者装束に身を纏って参加した。

日本武道館は昨年5月にロシア連邦モスクワ市ポリショイ劇場で行われた2018年「ロシアにおける日本」年「日本におけるロシア年」開会式において、プーチン大統領、安倍首相がロイヤルボックス席から見守る中、鏡開き式を披露。大将軍を臼井理事長が務め、その模様はロシ

ア全土で放送された。

今回の鏡開き式においても再び大将軍を務めることとなった臼井理事長の呼びかけによって、日本武道館事務局を含めた数名がロシア版鏡開き式と重なるメンバーとなり、ロシア版の再現を目指した。

鑑着初めでは、臼井大将軍が三献の儀を行い、神前で、武道の精神を発揮し、世界平和の実現と国家社会のために寄与することを誓い、奉読した。

鏡開き式では、臼井大将軍が掛矢で勢いよく鏡開きを行うと、副將軍2名が立て続けに鏡割りを行い、場内は大きな盛り上がりを見せた。

出陣に先立って、臼井大将軍が「えい！ えい！」と力強く発声すると全軍および場内からも「おう！」と応じて、鬨の音が響き渡った。そして、太鼓を合図に、前軍から順に全軍が勇ましく進発。悠々と場内を2回練り歩いた。



鎧着初め・鏡開き式



白井大將軍をはじめとする全軍による行進



誓いの言葉の奉読



三献の儀



副将軍による鏡割り



場内には関の声が響き渡った

模範演武



川端達夫日本武道館常任理事



弓道



少林寺拳法

模範演武では、先立って川端達夫日本武道館常任理事が、「武道は身体を鍛え、如何なることにも揺るがない強い心をつくり、立派な人格形成に資するものであります。模範演武を披露していただく皆様は、それぞれの武道の模範として立派に行っていた、皆様の一年が充実したものとなるよう祈念いたします」と挨拶を行った。

次に、弓道の「四つ矢行射」から演武は開始された。続いて、空手道「ونسルー」、銃剣道「銃剣道の形、応用技、試合」、合気道「基本技、応用技、自由技」、なぎなた「全日本なぎなたの形」、柔道「古式の形」、少林寺拳法「一般女子、一般男女、一般男子による組演武」、剣道「全日本剣道連盟杖道」、相撲「基本動作と技・決まり手の説明」が披露された。各道を代表する演武者による技法に場内からは感嘆のため息がもれていた。



空手道



銃剣道



なぎなた



剣 道



相 撲



合気道



柔 道

【演武者】（演武順）

▽弓道Ⅱ森川繁孝五段、橋本隆志五段、友安正人教士六段

▽空手道Ⅱ平紗枝二段、武儀山舞二段、石橋咲織二段

▽銃剣道Ⅱ石井博衛範士八段、渡邉正一教士八段、小倉弘之教士七段、佐藤岳鍊士六段、岩下英樹鍊士六段、橋本真悟鍊士六段

▽合気道Ⅱ金澤威七段、鈴木俊雄六段、小山雄二五段、日野皓正五段、梅津翔五段、里舘潤四段、松村光参段、鈴木昂平参段、桑原将太参段

▽なぎなたⅡ吉井美恵子範士、谷本良子教士

▽柔道Ⅱ中西英敏八段、松本勇治七段

▽少林寺拳法Ⅱ川島佑斗正拳士五段、小澤晴太正拳士四段、小澤里菜正拳士四段、高橋明日香正拳士四段、山本望三段

▽剣道Ⅱ藤崎興朗杖道範士八段、釣賀敏郎杖道範士八段

▽相撲Ⅱ舛田守八段、星野旭克二段、勝呂歩紀三段、六井健人初段、松浦裕介参段、ラグチャー・ジャ

ミントクトホ

武道始め

(稽古会)

・おしるこ会



山谷えり子参議院議員



模範演武が終了すると武道始め
(各道稽古会) となった。

初めに山谷えり子参議院議員・日本武道館理事が、

「稽古会では皆様の日頃の成果を発揮していただきたいと思っています。今年干支は亥。十干を組み合わせると己亥という年であります。次の準備を強いエネルギーで迎える年といわれているようです。今まさに、道を求める心、武道の心が大切になっているわけであります。私も武道議員連盟の一人として、武道人として本年も尽力してまいりたいと思います」と挨拶を述べた。

柔道、剣道、相撲、空手道、合気道、少林寺拳法、なぎなた、銃剣道の子供を中心とした参加者約1200名が場内一杯に広がり、元氣よく稽古を行った。寒の内の季節ながらも、寒気を吹き飛ばすかのように場内は熱気に包まれていた。

最後は観覧者も交えた全員で「おしるこ会」となり、お汁粉や樽酒が振る舞われた。場内のあちこちで車座になって談笑し、舌鼓を打っていた。晴れやかな雰囲気の中、一連の行事を全て終えて会は幕を閉じた。

大將軍・副將軍役を終えて

◎大將軍Ⅱ白井日出男日本武道館理事長



▽鏡開き式を終えての感想をお聞かせください。

「昨年、モスクワ市において日本武道館の鏡開き式を披露しました。今回はそのことを意識しながら行いました。ロシアでは時間の関係で省略しましたが、日本ではいつもの通り、全部、じっくりやらせていただきました。平成最後の鏡開き式でもあり、非常に感慨深い鏡開き式になったと思います。これからも日本の武道というものを世界に知ってもらうためにも、こうした式典はしっかりと続けていきたいと思っています」

▽日本武道館として2019年をどのような一年にしたいですか。

「我々の頭にあるのは2020年の東京オリンピック・パラリンピック

の柔道・空手道の実施であります。こういったものをしっかりと成功させようということです。日本武道館の増改修が終了しますと、よりよい環境でオリンピックを楽しんでもらうことができると思いますので、しっかりと増改修工事を進めていきたいと思っています」

◇ ◎副將軍Ⅱ林典夫合気会常務理事



「鎧を着た瞬間に身が引き締まりました。昔の戦国武将もこうだったのかなと思いを馳せることができました。今回副將軍に選んでいただいたことは本当に名譽なことです。8年か9年に一度しかない巡り合わせに私がいたということで、大変幸運だったと感謝しております」

過去の大將軍・副將軍役一覧

年	大將軍	副將軍*
昭和40	赤城宗徳(大將)	三浦英夫(副將)
41	江崎真澄	
42	三浦英夫	
43	赤城宗徳	三島由紀夫(大將)
44	赤城宗徳	
45	笹川良一	江崎真澄(大將)
46	笹川良一	
47	毛利松平	
48	小坂善太郎	
49	園田直	三浦英夫
50	田中栄一	小川半次
51	植芝吉祥丸	田村倉蔵
52	小川半次	(甲冑研究会員)
53	石田和外	仁藤正敏
54	大道場改修のため中止	
55	早川 崇	仁藤正敏
56	河合亮晴	武藤英雄(剣道)
57	原文兵衛	青山豊太郎(柔道)
58	加藤武徳	藤川誠勝(相撲)
59	辻原弘市	佐々木清雄(銃剣道)
60	村山喜一	内山 滋(少林寺拳法)
61	江崎真澄	若林英一(空手道)
62	坂本三十次	星野一雄(剣道)
63	木島喜兵衛	橋本与三郎(弓道)
平成元	尾崎朝夷	吉良隆俊(銃剣道)
2	塩川正十郎	山本信明(柔道)
3	館内大改修のため中止	
4	山下元利	倉澤吉一(剣道)
5	原文兵衛	奥村繁信(合気道)



昭和40年鏡開き式



昭和43年鏡開き式
赤城理事長(左)と三島氏



平成2年鏡開き式
塩川大將軍(中央)

年	大將軍	副將軍*
平成6	片岡勝治	藤川誠勝(相撲) 廣井雄一(東京国立文化財研究所)
7	江崎真澄	内山 滋(少林寺拳法) 廣井雄一(東京国立文化財研究所)
8	三塚 博	真野高一(空手道) 廣井雄一(東京国立文化財研究所)
9	松永 光	鴨川乃武幸(弓道) 青木繁夫(東京国立文化財研究所)
10	高村正彦	源川幸夫(銃剣道) 青木繁夫(東京国立文化財研究所)
11	白井日出男	河盛敬子(なぎなた) 小笠原信夫(東京国立博物館)
12	永野 健	鳥海又五郎(柔道) 小笠原信夫(東京国立博物館)
13	井上 裕	植芝守央(合気道) 鈴木嘉定(日本美術刀剣保存協会)
14	奥田幹生	松村 豊(相撲) 湯沢 貞(靖国神社)
15	松永 光	石丸俊彦(剣道) 武田邦信(武田家旧温会)
16	松前達郎	新井庸弘(少林寺拳法) 廣井雄一(日本甲冑武具研究保存会)
17	松永 光	蓮見圭一(空手道) 白綾基之(日本甲冑武具研究保存会)
18	高村正彦	鈴木三成(弓道) 白綾基之(日本甲冑武具研究保存会)
19	白井日出男	藤原利将(銃剣道) 白綾基之(日本甲冑武具研究保存会)
20	島村宜伸	宮川祥子(なぎなた) 白綾基之(日本甲冑武具研究保存会)
21	松永 光	関根 忍(柔道) 白綾基之(日本甲冑武具研究保存会)
22	白井日出男	尾崎 响(合気道) 小菅一憲(日本甲冑武具研究保存会)
23	高村正彦	佐藤 功(相撲) 白綾基之(日本甲冑武具研究保存会)
24	中山成彬	松永政美(剣道) 白綾基之(日本甲冑武具研究保存会)
25	安西邦夫	堤 清彰(少林寺拳法) 白綾基之(日本甲冑武具研究保存会)
26	河村建夫	中村勇作(空手道) 小菅一憲(日本甲冑武具研究保存会)
27	塩谷 立	石川武夫(弓道) 永田仁志(日本甲冑武具研究保存会)
28	中曾根弘文	酒井 健(銃剣道) 永田仁志(日本甲冑武具研究保存会)
29	續 訓弘	佐藤浩市(なぎなた) 永田仁志(日本甲冑武具研究保存会)
30	川端達夫	吉田忠征(柔道) 永田仁志(日本甲冑武具研究保存会)
31	白井日出男	林 典夫(合気道) 加藤征男(日本甲冑武具研究保存会)

※2020年はオリンピック・パラリンピック東京大会開催に伴う増改修のため中止。

※昭和62年から副將軍役は2人となる。

好評発売中

絵と文 中村 麻美 (なかむら まみ)

F4判・上製・98頁・定価(本体2700円+税)

伝えたい日本のいろ



中村麻美 (なかむら・まみ) 画家・挿画家。三重県津市生まれ。県立津西高校、津田塾大学卒。大学在学中、日本画教室(田中峰雪氏に師事)にて作画の基礎を学ぶ。英語個人教授業、第十八代ミス日本グランプリ、NHK BSニュースキャスター、絵本翻訳業を経て、絵画を志す。大和草、茶花などを題材とした日本画の本画を制作し、書籍、雑誌、新聞、テレビ番組などで歴史もの、武人画、創業者などの挿画を手がける。また、原作新聞小説挿画を描いたNHK大河ドラマ『天地人』放映の平成十九年以降は、歴史上の人物の本画作品制作にも新境地を開いている。代表作に『天地人丸紋絵巻』(兼統お船ミュージアム所蔵)、『斎王』(三重県立斎宮歴史博物館所蔵)など。

月刊「武道」の美しいカラー表紙絵の中から45点を精選。岩絵具で描いた日本画と解説文で「日本のこころ」をお届けします。

「ひとに愛されたい、必要とされたい、社会をよくするため役立ちたい。よき人間でありたい、そしてみんなが幸せであってほしい」——こうした万国共通の願い、祈りを育て、磨くためにも、確かな手がかりとなるすばらしい逸話ばかりです。(本書「あとがき」より)

目次

- 一 かしい小僧さん
- 二 ひより越え
- 三 天の石屋戸
- 四 巖流島の決闘
- 五 太田道灌と少女の歌
- 六 三本の矢の教え
- 七 山中鹿介——我に七難八苦を与えたまえ
- 八 良寛さまと筍
- 九 民を慈しむ仁徳天皇
- 十 中江藤樹——母への薬
- 十一 夫の危機を救う弟橘媛
- 十二 良子斎王——別れの御櫛
- 十三 桜井駅の別れ
- 十四 八俣の大蛇
- 十五 川中島の戦い——謙信と信玄
- 十六 紅梅内侍と鶯の宿
- 十七 新羅三郎義光——笙の秘曲を授ける
- 十八 小松姫——夫の居城を守りぬく
- 十九 青の洞門
- 二十 鍋島直茂と接木木
- 二十一 小林虎三郎——米百俵の精神
- 二十二 島津義弘——関ヶ原敵中突破
- 二十三 光明皇后——千人のからだを洗う
- 二十四 城戸俊三——勝利を捨てて愛馬を救う
- 二十五 松坂の一夜
- 二十六 柳に飛びつく蛙
- 二十七 称名寺『青葉の楓』
- 二十八 神武天皇で東征
- 二十九 本多忠朝とサンフランシスコ号
- 三十 つるべの朝顔
- 三十一 鉢中兼山——海に捨てたはまぐり
- 三十二 鉢の木
- 三十三 因幡の白うさぎ
- 三十四 堪忍のわび証文
- 三十五 橘曙覧『独楽吟』
- 三十六 南総里見八犬伝
- 三十七 吉田松陰の志
- 三十八 鳥居強右衛門の勇氣
- 三十九 明智光春——誉れの湖水渡り
- 四十 赤穂義士の討ち入り
- 四十一 頼朝を助けた梶原景時
- 四十二 貞田幸村——大坂の陣
- 四十三 天照大御神と美し国・伊勢
- 四十四 和田勇——祖国にオリンピックを招致
- 四十五 長岡花火『白菊』



編集・発行 公益財団法人日本武道館
〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ!

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

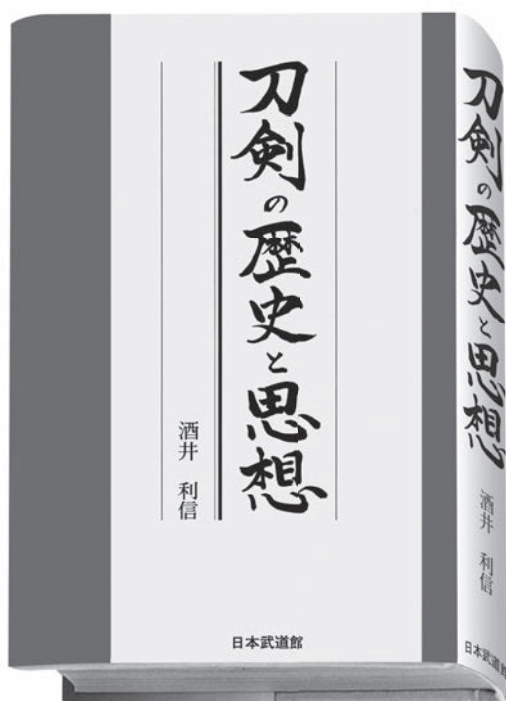
◎好評発売中

筑波大学教授 酒井利信 著

四六判・上製・346頁・本体2400円＋税

刀剣の歴史と思想

刀剣を単なる武器としてではなく、
神聖なものとして捉える思想とは何か――



題字揮毫―鹿島神宮 鹿島則良 宮司

日本独自の展開をみせてきた刀剣に関する思想を、中国、朝鮮など、東アジアにまでルーツをたどりながら、確かな史料を基に考察。古事記・日本書紀に語られる神話、平家物語・太平記などにみられる三種の神器にまつわる記述、鹿島新當流、示現流に伝わる伝書といった歴史的文献を読み解き、日本刀剣思想のオリジナリティを浮かび上がらせる。

目次

終章	「稽古照今」
序章	第二章 探求の旅をはじめににあたって
	第二章 刀剣の歴史
	第二章 刀剣思想の源流
	第二章 古代中国の宝剣伝説 太阿の剣
	第二章 干将莫耶の宝剣伝説
	第二章 高祖の斬蛇剣
	第二章 道教と剣
	第二章 古代朝鮮の刀剣思想
	第二章 神話的イメージの形成
	第二章 神話的世界の形成と剣神の誕生
	第二章 天より降る剣 節霊剣
	第二章 天地を繋ぐ剣 草薙剣
	第三章 信仰のなかの刀剣思想
	第三章 記る剣 祀られる剣
	第三章 辟邪の呪剣
	第三章 うけいの呪術と剣
	第四章 修験道と剣
	第四章 中世における刀剣思想
	第四章 三種の神器の不思議
	第四章 「平家物語」にみる三種の神器
	第五章 「太平記」に語る草薙剣像
	第五章 近世剣術における刀剣思想
	第五章 剣術伝書に語られる日本神話
	第六章 新當流にみる霊剣の技術
	第六章 示現流にみる心の利剣
	第六章 近世剣術における刀剣思想の展開
	第六章 近代以降の刀剣思想
	第六章 古代と現代を繋ぐ刀剣
	第六章 鹿島神宮日本刀奉納鍛錬

編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ！

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

講道館鏡開式

世界へ向けて 柔道の正しい普及振興を願う

講道館鏡開式は1月13日に、全国から500名の修行者、関係者が集まって講道館大道場で行われた。

式は午前10時に開会した。はじめに館員を代表して梅津勝子九段が「上村館長をはじめ、会員皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます」と賀詞を述べた。

続いて、上村春樹講道館館長が年頭の挨拶に立った。

「今年もたくさんの行事や公務が予定されています。来年は東京オリンピックが日本武道館で開催され、今年には前哨戦として世界選手権が同会場で開催されます。私たちは大会を



上村春樹館長

成功させる必要があります。また、競技としての柔道の発展だけでなく、教育としての柔道、人づくりとしての柔道も力強く推進していかねければなりません。嘉納治五郎師範が残された教訓を元に、柔道の正しい普及振興を国内外に行っていく必要があります。そのためには、先達が残された柔道の歴史に立ち返り、『精力善用』『自他共栄』に努めていきたいと思っています」

その後、7種の形演武、強化選手との少年部・女子部・成年の乱取稽古が披露された。また、本年は場所・服装を問わず身体鍛錬ができることを目的とする精力善用国民体育が披露された。

昇段発表証書授与では、各段位に昇段した代表者に上村館長から証書が手渡された。毎年恒例のしるこ会では、参加者はしるこに舌鼓を打ちながら、仲間と談笑の時を過ごした。



形の演武（講道館護身術）



形の演武（投の形）



少年部乱取稽古

■形演武者

- ◆投の形Ⅱ取・赤坂洋輔六段、受・若菜大介六段
- ◆固の形Ⅱ取・大島修次七段、受・紺野直能五段
- ◆極の形Ⅱ取・竹石憲治六段、受・植松恒司六段
- ◆柔の形Ⅱ取・岩田美喜女子参段、受・内田みゆき女子参段
- ◆講道館護身術Ⅱ取・石堂勇人七段、受・熊谷修六段
- ◆五の形Ⅱ取・向井幹博七段、受・南保徳双六段
- ◆古式の形Ⅱ取・松井勲八段、受・山本三四郎七段
- ◆精力善用国民体育Ⅱ取・竹淵典子女子六段、受・灰原菜美女子四段

心技体 人を育てる総合誌
月刊 武道



好評発売中

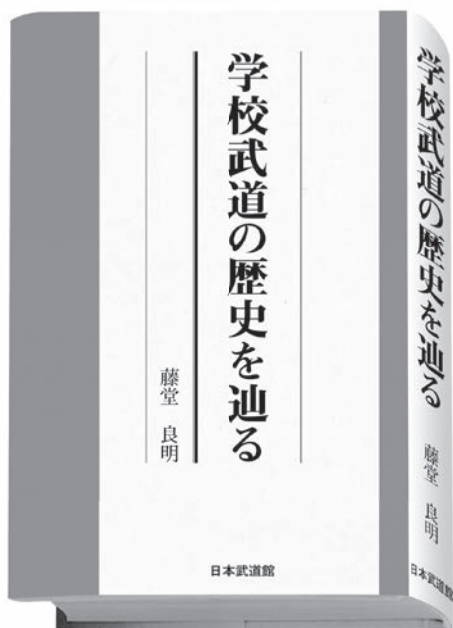
藤堂良明 (とうどう よしあき)
(筑波大学名誉教授) 著

学校武道の歴史を辿る

四六判・上製・354頁・本体2400円＋税

江戸時代の藩学教育に遡る学校武道の歴史。明治維新を迎え武術は衰退したが、近代化の過程で武道が「人間形成の道」として学校制度のなかに組み込まれ発展した。太平洋戦争後に武道は全面禁止となるが、それを乗り越え「格技」として復活、平成20年には「中学校武道必修化」が実現した。

学校武道の歴史を丹念に辿り、今後のあり方を探る。



著者略歴

藤堂良明 (とうどう よしあき)

1949年(昭和24)、埼玉県生まれ。東京教育大学体育学研究所修士課程修了。筑波大学教授(体育科学系)、同大学体育専門学群副学群長、同大学附属中学校長、全国国立大学附属学校連盟会長、日本教育大学協会副会長、日本武道学会理事、全日本柔道連盟教育普及委員会委員などを歴任。

現在、筑波大学名誉教授。博士(学術)。柔道七段。埼玉県柔道連盟副理事長。日本古武道協会常任理事。

目次

- 第1部 江戸時代の学校武道
 - 第1章 藩学の創設と文武学習
 - 第2章 藩学における教育目標
 - 第3章 藩学における武芸教育
- 第2部 明治時代の学校武道
 - 第4章 武芸の衰退と学校教育制度の確立
 - 第5章 学校武術採用に関する体操伝習所の答申
 - 第6章 山岡鉄舟と嘉納治五郎
 - 第7章 嘉納治五郎の学校柔道普及戦略
 - 第8章 明治期の学校における武術の普及状況
 - 第9章 武術の正課採用への歩み
- 第3部 大正時代の学校武道
 - 第10章 文部省主催武術講習会の目的と内容
 - 第11章 学校体操教授要目の制定と内容
 - 第12章 「学校体操教授要目」制定後の体育界の動向
 - 第13章 大日本武徳会の設立と影響
 - 第14章 学生武道の隆盛
 - 第15章 改正学校体操教授要目の制定と内容
- 第4部 昭和20年以前の学校武道
 - 第16章 精力善用国民体育と学校武道
 - 第17章 柔・剣道が正課必修に
 - 第18章 戦前の学生武道大会の発展
 - 第19章 国民学校体操科の登場
 - 第20章 第二次大戦中の体操科武道
- 第5部 戦後の学校武道
 - 第21章 戦後の学校武道の禁止と復活
 - 第22章 「格技」の誕生
 - 第23章 格技から武道へ
 - 第24章 中学校武道必修化の実現
 - 第25章 これからの学校武道のあり方

発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ!

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

合気会鏡開き式

合気道の理念、技法を しっかりと後世に伝えよう

合気会鏡開き式は1月13日に合気会本部道場で開かれ、全国から約2000名の修行者が集まって新年を祝った。

式は午後2時に始まり、植芝守央合気道道主が年頭の挨拶を述べた。「今年は開祖が亡くなられて50年、

吉祥丸2代目道主が亡くなられて20年の節目の年であります。この間、合気会は先達から今日にいたるまでの皆様のお力により、世界140の国と

地域に大きな輪が広がってきております。特に、最近ではロシア、東欧を始め、中央アジア、南米、アフリ



植芝守央合気道道主

カにまでその輪が広がっております。今後、私共はこの流れを大切にしながら、開祖が作られた合気道の理念、技法をしっかりと後世に伝えていくことが役目ではないかと考えております。そのためには、日々の稽古を大切にし、精進していく必要があると思います」

次に、山谷えり子参議院議員が挨拶を行い、保坂三蔵元参議院議員が来賓の祝辞を述べた。

植芝道主による奉納演武の後、推薦昇段者発表及び証書授与式が行われた。初段から七段までの各段位昇段者の代表者と、八段昇段者に植芝道主が証書を手渡した。

証書授与式後は、直会が行われた。はじめに、多田宏本部道場師範が挨拶を述べた。そして、赤沼二己男理事の発声で乾杯。参加者たちは仲間と語らいながら、新年の決意を新たにした。



昇段者への証書授与



植芝道主による奉納演武



直会

一般財団法人 少林寺拳法連盟鏡開き・稽古始め

1400名の参加者が

新年初稽古を行う

1月13日、少林寺拳法連盟本部において、「鏡開き稽古始め」を行い、全国より約1400名の拳士、保護者、関係者が参加しました。

冒頭、一財連盟の昨年の活動の様子を編集したスライドショーを上映し、川島一浩会長の年頭挨拶では、一年の様々な活動に対するご協力のお礼とともに、一財連盟の活動方針、特に少林寺拳法OB・OGが活躍している警察関係の支部増加に向けて方針が述べられました。

その後、各世代の代表者からの新



稽古始め

年の誓い、演武披露の後、稽古始めを行いました。一般の会場では川島会長より技術披露とともに指導が行われ、会長の周りには間近で技術指導を受けるべく多くの参加者が集まり、熱気を帯びた練習が行われました。少年の会場では、志村職員より指導が行われ、基本練習では大人顔負けの気合いが出るなど、引き締まった表情が印象的でした。

最後に行われた少林寺拳法グループ全体での新春のつどいでは、鏡割り、餅つき、太鼓演奏などが行われ、おしるこ、うどんなどが振る舞われました。特に餅つきでは、子供たちや高校生たちが杵を振り、周りでは仲間が笑顔で写真撮影をするなど、稽古始めとは違った笑顔が溢れていました。「晴天に恵まれ、気持ちよかったです」「また来年も来ます!」といった多くの声が聞かれました。
(文・写真)一般財団法人 少林寺拳法連盟

マンガ・武道の偉人たち



マンガ・武道の偉人たち

漫画家・別府大学教授 田代しんたろう 著

B5判・302頁・本体1,000円+税

武道の基礎を築いた偉人たちの生涯をマンガで学べる。
収録偉人一覧：嘉納治五郎(柔道)、高野佐三郎(剣道)、阿波研造(弓道)、
双葉山(相撲)、船越義珍(空手道)、植芝盛平(合気道)、宗道臣(少林寺拳法)、
園部秀雄と三田村千代(なぎなた)、鶴沢尚信(銃剣道)

ご注文・お問い合わせ 日本武道館 月刊「武道」編集部 〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3 TEL 03-3216-5147 FAX 03-3216-5158
<http://www.nipponbudokan.or.jp> インターネットでのご注文は、「武道館単行本」と検索!

好評発売中！

漫画家・別府大学客員教授

田代しんたろう 著

マンガ・武道のすすめ

B5判・並製・236頁・本体1000円＋税

マンガ・武道のすすめ

田代しんたろう



日本武道館

月刊「武道」誌上で好評連載中の「マンガ・武道のすすめ」を単行本化！

柔道・剣道・弓道・相撲・空手道・合気道・少林寺拳法・なぎなた・銃剣道・古武道の各先生方に毎回直接インタビュー取材し、武道の良さ、すばらしさをおもしろく、わかりやすく、描いています。

大人も子どもも読んで楽しく、ためになる武道教養マンガ。

《目次》

序章 武道のすすめ

松永光(日本武道館)／高村正彦(武道議員連盟)／有松育子(文部科学省)

第1章 いざ！ 武道の世界へ

第2章 柔道のすすめ

大澤慶己／長谷川博之／腹巻宏一／吉村和郎／山内直人

第3章 剣道のすすめ

森島健男／角正武／千田重光／井上茂明／小林知洋

第4章 弓道のすすめ

森永良雄／吉本清信／宇佐美義光／柴田猛／大和田正孝

第5章 相撲のすすめ

塔尾武夫／住吉和則／下村勝彦／安井和男

第6章 空手道のすすめ

金城裕／長谷川伸一／安里廣之／山本英雄／大石武士

第7章 合気道のすすめ

多田宏／磯山博／菅沼守人／珠玖仁

第8章 少林寺拳法のすすめ

合田清一／阿達美恵子／八巻哲／松浦哲也

第9章 なぎなたのすすめ

澤田花江／梶山武子／一川治子／左村美穂子／大津博美

第10章 銃剣道のすすめ

桑原正治／兼坂弘道／遠藤守／石川慎也／北村弘之

第11章 古武道のすすめ

竹内藤十郎(柔術)／笹森建美(剣術)／加藤伊三男(槍術)／小笠原清忠(馬術)

日本武道館の歴史

日本武道館の歴史

編集・発行 公益財団法人日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ！

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

日本武道館発行の単行本



今、なぜ武道か —文化と伝統を問う—

福島大学教授

中村 民雄 著

(四六判・上製・370頁)



BUDŌ: THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編

翻訳・編集：アレキサンダー・ベネット

(B5判・上製・DVD付・336頁)



武道 子どもの心をはぐくむ

早稲田大学教授・教育カウンセラー

菅野 純 著

(四六判・上製・410頁)



大先輩に聞く

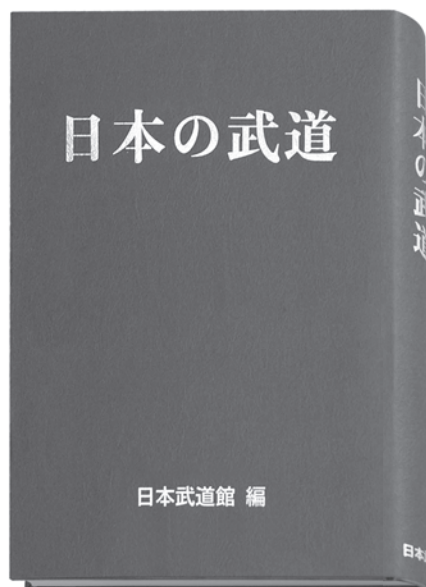
月刊「武道」記者

田谷 将俊 著

(四六判・上製・376頁)

一千数百年の歴史を有する
武道の全容をこの一冊に集大成!!
武道小百科事典としても役立つ
充実した巻末の資料編!!

柔道・剣道・弓道・相撲・空手道・合気道・
少林寺拳法・なぎなた・銃剣道をはじめ、
各武道統括団体の全面協力によって完成!!



(B5判・上製・箱入・526頁)



日本武道館 編

日本の武道

日本の武道のすべてを網羅した武道関係者必携の書

第35回 若潮杯争奪武道大会

剣道男子

柔道男子

佐野日大（栃木）が初優勝
国士舘（東京）が王座奪還



剣道男子決勝＝佐野日大（栃木）対育英（兵庫）



柔道男子決勝＝国士舘（東京）対東海大相模（神奈川）

第35回若潮杯争奪武道大会（主催
日本武道館、国際武道大学）が昨
年12月26日・27日に国際武道大学で
開催された。

全国から選抜された高校生が初日
に剣道、2日目は柔道、なぎなたの
各種目で競技を行った。

□剣道の部（男女各24チーム）

1・2年生により、5人制で行わ
れ、3校による予選リーグを行った
後、各リーグ1位の決勝トーナメン
トによって覇が競われた。

男子決勝は、佐野日大（栃木）と
育英（兵庫）が対戦。佐野日大が先
鋒で一本勝。その後の、次鋒、中堅、
副将、大將戦は全て引き分け。佐野
日大が育英を1―0で降し、初優勝
を果たした。

女子は昨年女王の県立守谷（茨
城）が札幌日大（北海道）を2―1
で破り、見事連覇達成、8度目の優
勝を果たした。

□柔道の部（男女各16チーム）

1・2年生により、男子5人制、
女子3人制で実施された。4校によ
る予選リーグの後、各リーグ上位2



なぎなた男子優勝＝
中村優太(神奈川大付属)



剣道女子優勝＝県立守谷 (茨城)



剣道男子優勝＝佐野日大 (栃木)



なぎなた女子優勝＝
佐藤茉奈 (東海学園)



柔道女子優勝＝富士学苑 (山梨)



柔道男子優勝＝国士館 (東京)



校によるトーナメント戦で競われた。

男子決勝では、国士館(東京)が東海大付属(神奈川)を2-1の代表戦で降し、優勝を果たした。

女子は、富士学苑(山梨)が敬愛(福岡)に2-1で勝利し、見事2連覇を達成した。

□なぎなたの部(男子24名、女子48名)

1-3年生により、男女とも3人1組のリーグ戦の後、各リーグ1位の決勝トーナメントで覇を競った。

男子の決勝は、昨年3位に入賞した中村優太(神奈川大付属)が齋藤啓佑(会津学鳳)に小手で一本勝負を決めた。

女子は、佐藤茉奈(東海学園)が相馬華江(会津学鳳)から小手で一本勝利、優勝を果たした。

【大会結果】

■剣道

▽男子①佐野日大(栃木) ②育英(兵庫) ③九州学院(熊本)、翔凜(千葉)

▽女子①県立守谷(茨城) ②札幌日大(北海道) ③桐蔭学園(神奈川)、東奥義塾(青森)

■柔道

▽男子①国士館(東京) ②東海大付属相模(神奈川) ③天理(奈良)、東海大付属大阪仰星(大阪)

▽女子①富士学苑(山梨) ②敬愛(福岡) ③藤枝順心(静岡)、夙川学院(兵庫)

■なぎなた

▽男子①中村優太(神奈川大付属)

②齋藤啓佑(会津学鳳) ③赤羽愛翔(東京都市大塩尻)、和田イワヤン龍(岐阜県立大垣商業)

▽女子①佐藤茉奈(東海学園)

②相馬華江(会津学鳳) ③田中成美(千葉女子)、村山花音(山形西)

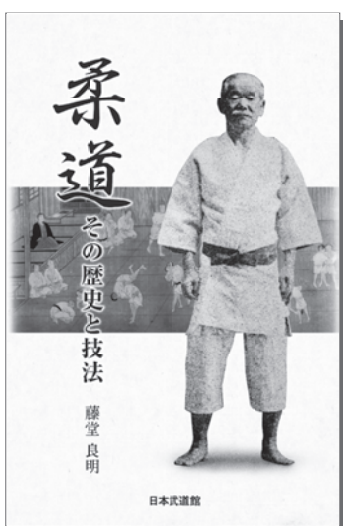
好評発売中!

柔道

その歴史と技法

筑波大学名誉教授 藤堂 良明 著

「原点に帰る」には、「原点を知る」必要がある。



四六判・上製・330頁・本体2,400円＋税

柔道の歴史を振り返りつつ、その技法が、どのように形作られてきたのかを、丁寧に解説しています。



武道の稽古は、技を通して精神を磨き、やがて社会のためになるという教育の道でもあった。時代は移り変われども、日本の伝統に培われた「武道としての柔道」を見失わないでいただきたいと願うものである。(本書「あとがき」より抜粋)

目次

第一章 組討ちの起こりと技法 体術の起こりと技法 組討ちの体系化と技法	第三章 講道館柔道の歴史と技法 講道館柔道の創設と技法 嘉納治五郎の乱取開発 講道館柔道の行事と整備 警視庁武術大会の勝利と技法 学校体操への柔道導入の試み 学校における柔道普及の実態 高専柔道の起こりと技法 嘉納治五郎の他武道への接近 精力善用国民体育の創案と技法 全日本柔道選手権大会の開催と技法	第四章 第二次世界大戦後の柔道復活と技法 第二次大戦中の柔道界と技法 第二次大戦後の柔道禁止と復活 格技柔道から武道柔道へ 女子柔道の競技化と技法
第二章 柔術諸流派の歴史と技法 竹内流腰廻 関口新心流柔術 起倒流柔術 起倒流柔道 直信流柔道 真之神道流柔術 天神真楊流柔術	第五章 柔道技法の変遷と国際化への課題 柔道技法の変遷と特徴 柔道の国際的普及と発展 段位制度の国際比較 柔道の国際化と課題	

編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ!

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

好評発売中！

公益財団法人講道館道場指導部課長
向井幹博
(むかい みきひろ) 著

役に立つ 少年柔道指導法

収録時間170分を超える
解説DVD付属！

DVD付き

役に立つ
少年柔道指導法

向井 幹博

A5判・並製・DVD付・414頁・本体2400円十税



少年柔道指導の現場で役に立つ好評連載を単行本化。付録のDVDには、写真では伝わりにくかった部分を映像で紹介。
また、少年柔道が抱える様々な問題点を、講道館所蔵の柔道文献から、解決の糸口を探っていく。

〈目次〉

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 第1部 解説編 | 第九章 少年柔道の未来のために |
| 第一章 少年柔道は柔道指導の原点 | 第2部 実技編 |
| 第二章 基本動作の指導 | 第一章 礼法の指導 |
| 第三章 技の指導 | 第二章 受け身の指導 |
| 第四章 教育の中の柔道 | 第三章 基本動作の指導 |
| 第五章 指導の工夫 | 第四章 トレーニング法の指導 |
| 第六章 少年規定の変遷と問題点 | 第五章 柔道の練習法 |
| 第七章 柔道の安全指導 | 第六章 投げの指導 |
| 第八章 東日本大震災への講道館の対応 | 第七章 固技の指導 |



編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ！

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158



第5回全国相撲指導者研修会（主催＝日本武道館・日本相撲連盟、後援＝スポーツ庁）は11月16日～18日の3日間、千葉県勝浦市の日本武道館研修センターで開催された。

全国で相撲を指導する小中学校・高等学校教員及び社会体育指導者並びにこれら指導者をを目指す者を対象とした中学校相撲授業における指導理論と指導法に関する研修会が行われ、講師・助講師7名、相撲を専門としない小中高校の教員を含む76名が参加した。

第5回全国相撲指導者研修会

安全で楽しく実施できる 相撲授業を模索

■1日目（11月16日）

●開講式 開講式では、はじめに浦嶋三郎しまきふろう日本相撲連盟常務理事が主催者挨拶に立ち、「全国から学校教員、

大学生、地域クラブの指導者など多くの方に参加いただきました。講師陣がしっかりと計画を練り、学校授業で安全に楽しく相撲の指導ができるよう、考えられた研修内容となっています。参加してよかったと思っています。3日間、がんばってください」と述べた。

続いて三藤芳生みつたよしお日本武道館常任理事・事務局長が、「10月にロシアと日本の交流事業として、ハバロフスクに日本武道代表団を派遣し、最も盛り上がったのが相撲のワークショップでした。11月のインドネシア派遣日本武道代表団でも、相撲の団員がサイン攻めにあうなど、海外における相撲人気は絶大です。日本でも相撲授業を採用する学校が増える可能性は十分あります。本研修会で相撲の魅力、奥深さを学んでいただき、子供たちに相撲のすばらしさを伝えることができるよう、指導力を



安藤均講師による「安全管理・指導」の講義



三藤芳生 日本武道館
常任理事・事務局長



浦嶋三郎
日本相撲連盟常務理事



運び足を使用した「ムカデ」を実践

高めてください」と挨拶した。



●DVD視聴 開講式後は、『中学校武道必修化指導書』DVDの武道編を全員で視聴した。

●講義Ⅰ 続いて、安藤均講師が「安全管理・指導」の講義を行った。学校は生徒が安心して学ぶ安全な場所であり、安全の確保は、指導者の努力義務である。安全確保のポイントとは、事前の予知であつて、事故が起こらないだろうではなく、起こるかもしれないという意識を常にもつことが重要。押し・寄りの段階的な指導について、立ち合いは接触した状態から始め、頭ではなく体をぶつけるなど、分かりやすい具体例をあげ、講義のまとめとした。

●実践研究Ⅰ 全員が大道場に移動して、上村裕一講師、村田安啓助講師による「グループ別ワークシヨツプ」が行われた。8グループに分かれ、自己紹介、情報交換、相撲普及の可能性について話し合い、交流し、相撲に関する知識を深めた。

続いて、基本動作、基本となる技、簡易試合の実技研修が行われた。日本相撲連盟作成の動画を見ながら、

基本動作の蹲踞^{ぞんぎょ}、塵手水^{ちりちようす}、中腰の構え、四股^{しこ}、運び足^{はりだし}、受け身を学び、次に基本となる押し、寄り、出し投げ、さらに遊びの要素を取り入れた簡易試合が紹介された。蹲踞相撲、陣取り相撲、押し合い相撲など、安全に楽しく相撲を体験できる内容で、参加者は大いに盛り上がった。

●講義Ⅱ 再び研修室で、桑森真介^{くわもりまさすけ}講師による「指導法概論」の講義が行われた。中学校相撲授業対応の指導書の紹介、中学校武道必修化の経緯、用具と施設、意欲を高めるための工夫、男女共学の留意点など、多岐にわたる内容をわかりやすく解説した。

まとめとして、「相撲の教材としての魅力」について、専門家以外でも指導が可能、ケガが少なく初歩的段階でも試合ができる、ルールが簡明で判定が容易、身体接触を通して相手の力を肌で感じられ、連帯感、信頼感を得られる、などの特長をあげて、相撲授業採用校が増えるよう連盟として力を入れていきたいと結んだ。

●講義Ⅲ 初日の最後に、堀内弥助^{ほりうちよすけ}講師による「指導計画」の講義が行



模擬授業での指導内容の確認



生徒が楽しめる簡易相撲を紹介（蹲距相撲）



四股の指導では笑みがこぼれる（模擬授業）



イスを使用した中腰の構えの指導（模擬授業）

われた。日本武道協議会刊行の『中学校武道必修化指導書』をもとに、相撲の特性、相撲の教材としての魅力、学習指導のあり方を解説し、2日目に行われる模擬授業の指導計画作成のポイントを参加者に示した。

■2日目（11月17日）

●講義Ⅳ 南和文講師による「体育活動中の外傷・傷害、重大事故の特徴、およびその予防対策」の講義が行われ、重大事故の原因や具体例を示し、危険な技、組手について指導を徹底したいと連盟の取組を説明した。

●講義Ⅴ 続いて、上村講師が中学校武道授業の「実践事例紹介」を行った。長野県木曽町中学校で行っている授業事例を紹介した。木曽町は明治時代から相撲が盛んであり、木曽町中では30年以上相撲を授業に取り入れている。

長野県内で相撲授業を実施している中学校は数校あったが、部活指導型の練習から抜け出せず、教材研究も行われない状況が続き、平成23年には木曽町中1校のみとなった。こ

の状況に危機感を持ち、これまで負の要素と考えられていた、「裸」「まわし」「裸足」への抵抗感、「大きいものが強い」という固定観念などを取り除き、新たな方向性を模索し、相撲を専門としない教員もできそうだと思える授業づくりを目指した。研究授業での発表を重ね、現在は木曽郡の5校で相撲授業が行われていると、報告した。

●実践研究Ⅱ・1 続いて、実践研究「グループワークによる指導案の作成」が行われた。6グループに分かれ、「中腰の構え」「四股」「押し」「寄り」「崩し」「礼法」のテーマで、それぞれ指導案を練った。

●実践研究Ⅱ・2 午後は「グループごとの指導の実践と観察」の実践研究として、勝浦市立勝浦中学校の生徒17名の協力を得て、1コマ15分の模擬授業が行われた。各グループが授業者を決めて、作成した指導案に沿って授業を展開し、安全に留意し、生徒の主眼的・対話的活動を重視した指導内容を実践した。

●実践研究Ⅱ・3 その後、研修室で「研究協議」が行われ、各グループの責任観察者が意見を発表し、安



「審判法研修」では浦嶋三郎講師が主審の基本動作から指導した



盛り上がりを見せた団体戦の様子

第5回全国相撲指導者研修会 講師・助講師・事務局名簿

【講師】

- 南 和文 日本相撲連盟副会長
浦嶋三郎 日本相撲連盟常務理事
桑森真介 日本相撲連盟中学校相撲授業指導法研究
委員会座長／明治大学教授
安藤 均 日本相撲連盟中学校相撲授業指導法研究
委員会委員／長野県木曾町立三岳小学校
校長
上村裕一 日本相撲連盟中学校相撲授業指導法研究
委員会委員／長野県木曾町立木曾町中
学校教諭

【助講師】

- 堀内 弥 日本相撲連盟中学校相撲授業指導法研究
委員会委員／山梨県富士吉田市立明見中
学校教諭
村田安啓 日本相撲連盟中学校相撲授業指導法研究
委員会委員／学校法人成城学校職員

【事務局】

- 安井和男 日本相撲連盟専務理事
吉村 登 日本相撲連盟主事
松尾貴之 日本武道館振興課長
今寺直人 日本武道館振興課主任

藤、上村両講師がそれぞれ感想を述
べる形で進められた。

■3日目（11月18日）

●実践研究Ⅲ 最終日は実践研修

「審判法研修・簡易試合の体験」が
行われた。浦嶋講師は、審判の心得
として、ルールを守る、武道精神を
大切にする、安全に気を配ることを
あげた。

続いて、グループに分かれ、簡易
試合を行った。チーム10名の団体戦
で、指相撲・腕相撲・けんけん相撲
などで真剣勝負が展開され、大いに
盛り上がった。

◇

●閉講式 閉講式では、桑森講師が

講評、安井和男やすいかずお日本相撲連盟専務理
事が主催者挨拶を述べ、全日程を終
了した。

（文責・日本武道館振興課）

好評発売中

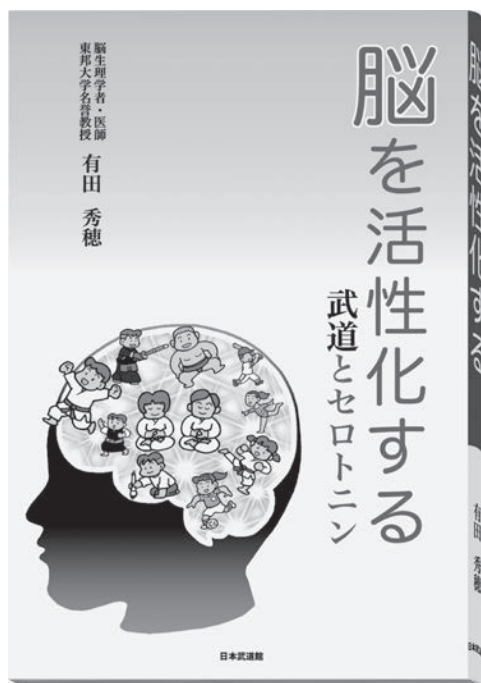
脳生理学者・医師
東邦大学名誉教授

有田 秀穂 著

脳を活性化する

武道とセロトニン

人間の心身を安定させ、「無心」の状態を作るセロトニン神経―その研究の第一人者が、丹田呼吸法を手懸かりに、武道や禅、日本文化を題材として、誰もが
できる脳を活性化する方法をわかりやすく解説。



A5判・並製・346頁・1,600円+税

有田 秀穂
(ありた・ひでほ)

昭和23年(1948)東京都生まれ。東京大学医学部卒業。東海大学医学部助手、筑波大学基礎医学系講師、東邦大学医学部教授を経て、現在、東邦大学名誉教授。脳生理学者、医師。セロトニン道場代表。



主な内容

第1部 脳の活性化とは

坐禅とセロトニン

ストレスとしごき

空海はセロトニン活性の達人

『弓と禅』に学ぶ身体トレーニング

沢庵の「不動智」とワーキングメモリー

不動明王と心の三原色

『弓と禅』に学ぶ無意識の自己意識

悪夢を消すには?

精進料理とセロトニン合成

「茶の湯」とセロトニンの生活

「自然に体が動いた」を脳科学で解く

勝海舟の「明鏡止水の心」を脳科学する

「武道の礼法」は社会脳を育む

相撲の「四股」は品性を育む

書道も心技体の人間修行

アンドロゲンと闘争心

日本の祭にはセロトニンがたっぷり

スキンシップとオキシトシン

空手の稽古は坐禅修行に通じる

脳は「丹田呼吸法」をどう操るか

試合における最適な覚醒状態

サイエンスは「気」をどこまで解明したか

仙人術を脳科学する

第2部 対談「武道で脳を活性化しよう」

日本武道館会長

松永 光

東邦大学名誉教授

有田 秀穂

：他

編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ!

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

日本武道館発行の単行本

武道の全容をこの一冊に集大成！



日本の武道

日本武道館 編

(B5判・上製・箱入・526頁)

『日本の武道』の英文版(DVD付)



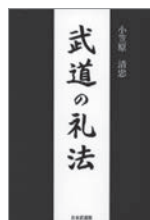
BUDŌ: THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編

翻訳・編集：アレキサンダー・ベネット

(B5判・上製・DVD付・336頁)

武道における礼法を小笠原流宗家が直々に指南



武道の礼法

弓馬術礼法小笠原教場三十一世宗家

小笠原清忠 著

(四六判・上製・278頁)

武道をわかり易く描いた教養マンガ



マンガ・ 武道のすすめ

漫画家・別府大学教授

田代しんたろう 著

(B5判・並製・236頁)

希代の弓人阿波研造の人物伝



霊箭 阿波研造物語

小学校教諭

馬見塚昭久 著

(四六判・上製・320頁)

日本人が拠り所としてきた価値観を詳説



日本の元徳

東京大学大学院教授

菅野 覚明 著

(四六判・上製・334頁)

『五輪書』などの代表的な武道伝書を詳解



武道伝書を読む

天理大学教授

湯浅 晃 著

(四六判・上製・348頁)

著者の半生をたどり、弓道の魅力に迫る



弓道 その魅力

山口大学名誉教授

岡村豊太郎 著

(四六判・上製・272頁)

子どもを育む武道の教育力を詳説



武道 子どもの心をはぐくむ

早稲田大学教授・教育カウンセラー

菅野 純 著

(四六判・上製・410頁)

武道の文化的・伝統的な事柄を解明



今、なぜ武道か

—文化と伝統を問う—

福島大学教授

中村 民雄 著

(四六判・上製・370頁)

平成 30 年度

全国なぎなた指導者研修会

～指導者としての資質向上を目指して～



中学校武道必修化班（A班①）の実技研修

平成30年度全国なぎなた指導者研修会（主催Ⅱ日本武道館・全日本なぎなた連盟、後援Ⅱスポーツ庁）は11月23日～25日の3日間、千葉県勝浦市の日本武道館研修センターで、講師・助講師11名、なぎなたを専門としない中学校保健体育科教員を含む69名が参加して行われた。

■1日目（11月23日）

●開講式

開講式では、中村ゆり子全日本なぎなた連盟常務理事が主催者挨拶に立ち、「なぎなた経験のない20名近くの学校教員の方々に参加いただきました。なぎなたの魅力を実感できる研修内容となっています。楽しく、一所懸命学んで、何かをつかんで指導現場に戻っていただきたい」と述べた。

続いて、三藤芳生日本武道館常任理事・事務局長が「指導者としての資質向上、現場での指導力発揮を目的とした研修会です。参加者におかれましては、なぎなた連盟を代表する講師の指導により、現在の力量を超えるよう臨んでいただきたい。初



◀部活動指導班（A班②）の実技研修



授業協力者育成班（B班）の実技研修▶

心の先生にはなごなたのダイナミズムを直接、肌で感じていただきたい」と挨拶を述べた後、徳地昌代講師が講師代表挨拶を行った。

●比嘉悟特別講師による基調講演



比嘉悟特別講師

はじめに、比嘉悟特別講師による基調講演「人を育て、人をつなぎ、人の絆を深める」が行われた。学生時代はバスケットボールに打ち込み、高校教員を40年務め、現在芦屋大学学長を務めている自身の経験に基づいた指導者論を熱く語った。主な内容は以下のとおり。

- ①私の教育目標は、実社会で、社会に貢献できる人間力の基礎を育てること。
- ②教えることは学ぶこと、教えることは希望を語ること。
- ③指導者の役割は、個々の才能に気付け、自信を持たせ、スポーツを楽しめる人間関係を育てる人間形成にある。

④教養は、善悪や価値の判断基準になり、人生の岐路に立たされた時や重要な判断を下さなければならぬ時に必ず必要になる。教養を身につけるには、読書が一番である。

⑤自己を高めることを忘れたら、指導者としての資格はない。

⑥常に新しい知見を学ぶ姿勢を忘れない。

⑦良い授業、部活動指導を行うには、準備で80%が決まる。

●『中学校武道必修化指導書』武道編DVDを視聴

続いて、日本武道協議会刊行『中学校武道必修化指導書』武道編DVDを視聴した後、実技研修が行われた。

●実技研修（1日目）

はじめに、中村講師が礼法、基本、構えについて一斉指導を行い、「礼は相手の目を見て心を伝えることです。相手を尊重する気持ちを忘れないでほしい」と述べた。

実技研修は班別で、次のように行われた。

▽A班①中学校武道必修化（今浦千信講師・渡邊美穂講師）



授業協力者育成班（B班）の防具着装の指導

②部活動指導（嶋田信子講師）

▽B班Ⅱ授業協力者育成として

①学校教員・大学生（紫関譲子講師、松井亮子講師）

②社会体育指導者（徳地昌代講師）

必修化班（A班）は日本武道協議会作成の指導書に沿って、基本、構え、体さばきを学んだ。今浦講師は「なぎなたは格好良く美しい武道です。身体で感じて、いろいろな意見を聞かせてほしい」と中学校授業で楽しく安全に実践できる指導法を説明した。



木戸康友
明石市立鬼怒川
中学校教諭



田辺夏奈
晃華学園中学校
高等学校教諭

●中学校武道授業実践例報告

夕食後、中学校武道授業実践例報

告として、木戸康友明石市立鬼怒川中学校教諭と田辺夏奈晃華学園中学校高等学校教諭が発表し、なぎなた授業実施までの経緯、工夫等を資料に基づき報告した。

木戸氏は、授業の成果として、以下の3点をあげた。

①挨拶や履物を揃えるなど、体育授業ではない場面でも変化が見られ、学校生活でも活かしていこうという姿が見られた。

②外部指導者がいることで、生徒にきめ細やかな指導が可能になり、生徒に達成感、向上心を持たせることができた。

③外部指導者と事前に授業の流れや計画を密に立てることができたため、安全に段階的に授業を進めることができた。

次に、田辺氏は課題として以下の3点をあげた。

①チームティーチング等で、実践を通じた研修を行うことができる環境づくり。

②教員養成段階での経験が少ないこと。

③生徒に武道を習得する目標を具体的に示すこと。



◀ 研修で学んだ 1 対多数の号令を披露 (A 班)

■ 2 日目 (11 月 24 日)

● 実技研修 (2 日目)

初日に続いて、班別の目的別実技研修が行われた。

必修化班 (A 班) は、礼法、構え、体さばきの復習から始まり、なぎなたの操作、手の内、上下振り、正面打ち、午後は空間での連続打ち、一対多数の号令などを学んだ。続いて一対一のトーナメントによる打ち返し選手権が行われた。参加者が審判を務め、判断基準として、八相の構えができているか、打つ高さの正確さ、発声、姿勢、技の連続性が示された。

● 情報交換会

実技研修後、研修室で情報交換会が行われ、中村講師、今浦講師から中学校体育授業実施に向けた連盟の取組として授業協力者人材バンクの活用、課題などが報告された。

■ 3 日目 (11 月 25 日)

● 実技研修 (3 日目)

最終日も引き続き、班別研修が行われた。必修化班 (A 班) では、授業の進め方、授業達成目標について、今浦講師より「実際の授業では、運動が苦手な生徒が多い中でどこまでを教えるか、という問題があります。本時のめあてを対象に応じて、予め示すことが大切であり、生徒が全体像を把握した上で完成型を想像できる「仕掛け」が必要です」とな

ぎなた授業を実施する際のヒントを示した。続いて、演技大会が行われ、6 組に分かれリーグ戦で、しかけ応じの 1・2 本目を披露した。優勝チームには連盟から賞品が贈られ、和やかな雰囲気で行われた。

● 成果披露

すべての研修を終了し、全員が大道場に集合して、各班が 3 日間の成果を披露した。A 班は代表者が「一対多数」の指揮者となり、大きな号令で全体を指揮した。B 班は、3 グループがリズムなぎなたを披露し、講師・参加者から大きな拍手が送られた。

● 閉講式

閉講式では、今浦講師が講師講評を、中村常務理事が主催者挨拶を述べ、全日程を終了した

なぎなたという素晴らしい武道を
一人でも多くの人に伝えたい



戦前の薙刀術教員養成所に始まり、戦後の
苦難の復興期を経て、現在の隆盛に至るま
で、著者自身が歩んだなぎなたの道を振り
返りながら、なぎなたの素晴らしさを謳い
上げた会心作。なぎなた愛好者のみならず、
武道指導者必読の一書。

◇第1章多感な少女時代 ◇第2章薙刀術教
員養成所 ◇第3章卒業 ◇第4章なぎなた
教師◇第5章全日本なぎなた連盟結成 ◇第
6章財団法人化 ◇第7章体協加盟と国体参
加 ◇第8章生涯続くなぎなたの道



私の歩んだ

なぎなたの道

元全日本なぎなた連盟顧問

徳永千代子 著

(四六判・上製・252頁)



編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページ<http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ！

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

日本武道館発行の単行本



日本の武道

日本武道館 編

(B5判・上製・箱入・526頁)

一千数百年の歴史を有する武道の全容を一冊に集大成。武道小百科事典としても役立つ充実の巻末資料など、武道関係者必携書。



BUDŌ: THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編

翻訳・編集：アレキサンダー・ベネット
(B5判・上製・DVD付・336頁)

武道のすべてを網羅した『日本の武道』の英語版がついに刊行！海外武道修業者・関係者におすすめしたい決定版。



武道 子どもの心をはぐくむ

早稲田大学教授・教育カウンセラー

菅野 純 著

(四六判・上製・410頁)

臨床心理学の立場から、子どもを育む武道の可能性、教育力に迫る。子どもをより良く伸ばすための知恵と珠玉の言葉を満載。



贈る言葉

なぎなた範士からのメッセージ

月刊「武道」編集部 編

(四六判・上製・366頁)

全国各地のなぎなた範士25名が、後世のなぎなた人へ贈るメッセージ。近代なぎなたの史料ともなる各範士の歩みを綴った半生記集。



武道伝書を読む

天理大学教授

湯浅 晃 著

(四六判・上製・348頁)

『風姿花伝』、『兵法家伝書』、『五輪書』など、代表的な武道伝書をわかりやすく読み解き、読者のためになるメッセージを贈る。



マンガ・ 武道のすすめ

漫画家・別府大学教授

田代しんたろう 著

(B5判・並製・236頁)

柔道・剣道・弓道・相撲・空手道・合気道・少林寺拳法・なぎなた・銃剣道・古武道の各先生方に直接インタビュー取材し、武道の良さ、素晴らしさをおもしろく、わかりやすく描く。



なぎなたに夢を馳せて

沖縄県なぎなた連盟会長
国際なぎなた連盟副会長

長濱 文子 著

(四六判・上製・356頁)

沖縄におけるなぎなた成長の道のりを、連盟会長として組織運営・人材育成に携わってきた著者が振り返る。



大先輩に聞く

月刊「武道」記者

田谷 将俊 著

(四六判・上製・376頁)

傘寿を超えた武道界の先達30名が贈る、後輩への熱きメッセージ。修行時代から現在までの足跡を辿る、後世に残す記録集。



月刊「武道」は、全国の書店で販売しています。